

## 次期栃木県教育振興基本計画骨子について

令和 7 (2025) 年 7 月 8 日  
教育委員会事務局教育政策課

## 1 現状・課題等

## 現状・課題

## (1) 社会の状況

- ・ 将来の予測困難な VUCA の時代（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）
  - ・ 少子高齢化、人口減少
  - ・ グローバル化・地球規模の課題
  - ・ DX の進展、AI・ロボット・グリーン（脱炭素）
  - ・ 共生社会・社会的包摂
  - ・ 精神的豊かさの重視（ウェルビーイング）
- 等

## (2) 国全体の教育課題

- ・ コロナ禍でのグローバルな交流や体験活動の停滞
  - ・ 高度専門人材の不足や労働生産性の低迷
  - ・ 不登校児童生徒や特別支援教育の対象となる児童生徒、外国人児童生徒等の増加
  - ・ 地域の教育力の低下、家庭を取り巻く環境の変化
  - ・ 教員の長時間勤務や教師不足
- 等

(3) 第 1 回次期栃木県教育振興基本計画懇談会における主な意見  
(本県の課題や取組の方向性等)

- ・ 非認知能力の育成
- ・ 探究的な学びやキャリア教育の充実
- ・ 産官学が連携した取組の充実
- ・ 児童生徒の多様なニーズへの対応の充実
- ・ 急激な教育の DX 化への対応の必要性
- ・ 働き方改革の加速
- ・ 成果を的確に測れる指標設定の必要性

## (4) こどもの意見聴取における主な意見（学校に期待すること）

- ・ 安全・安心して過ごせる学校づくり
- ・ わかりやすい授業
- ・ 自然体験や職業体験等の体験活動の充実
- ・ 温かい人間関係を築く機会の充実

## 求められること

- ・ 誰もが安全・安心に学べる学校づくり
- ・ 誰一人取り残さない教育の充実
- ・ 多様性を包摂する共生社会の実現に向けた教育の充実
- ・ 持続可能な社会を維持・発展させていく力の育成
- ・ 地域コミュニティの発展を担う力を育むこと
- ・ 教育 DX の推進
- ・ 魅力ある学校施設等の教育環境の充実

## 2 策定の趣旨

現行計画である「栃木県教育振興基本計画 2025 -とちぎ教育ビジョン-」が令和7年度に終期を迎えることから、本県教育の現状と課題を踏まえ、中長期的展望に立った課題等の解決に向け、必要な施策の基本的な計画を策定するもの。

## 3 計画期間

令和8（2026）年度から令和12（2030）年度（5年間）

## 4 骨子の概要

- ① 位置付け … 「栃木県教育大綱」、「情報化推進計画」と一体化
- ② 基本理念 … 誰もが自分の可能性を开花させ ともに未来を描く とちぎの教育を実現します
- ③ 基本目標・基本施策 … 5つの基本目標、10の基本施策を設定

「学校安全の徹底」を全ての教育活動の前提として、引き続き「基本目標Ⅰ」に位置付け

基本目標	基本施策
Ⅰ 誰もが安全に安心して学べる学校づくり	1 学校安全の徹底・充実
	2 児童・生徒指導の充実
Ⅱ とともに幸せや生きがいを感じる社会を創る力を育む	3 多様なニーズに対応した教育の充実
	4 人権尊重の精神を育む教育の充実
Ⅲ 新たな価値を創造する力を育む	5 これからの時代に求められる資質・能力の育成
	6 持続可能な社会の創り手として学び続ける人材の育成
Ⅳ ふるさとの未来を担う力を育む	7 学校・家庭・地域が連携し、ともに学び合う機会の充実
	8 ふるさとを愛し生涯学び続ける人材の育成
Ⅴ 未来を見据えた質の高い教育環境づくり	9 教育DXの推進
	10 学校の魅力化・特色化の推進